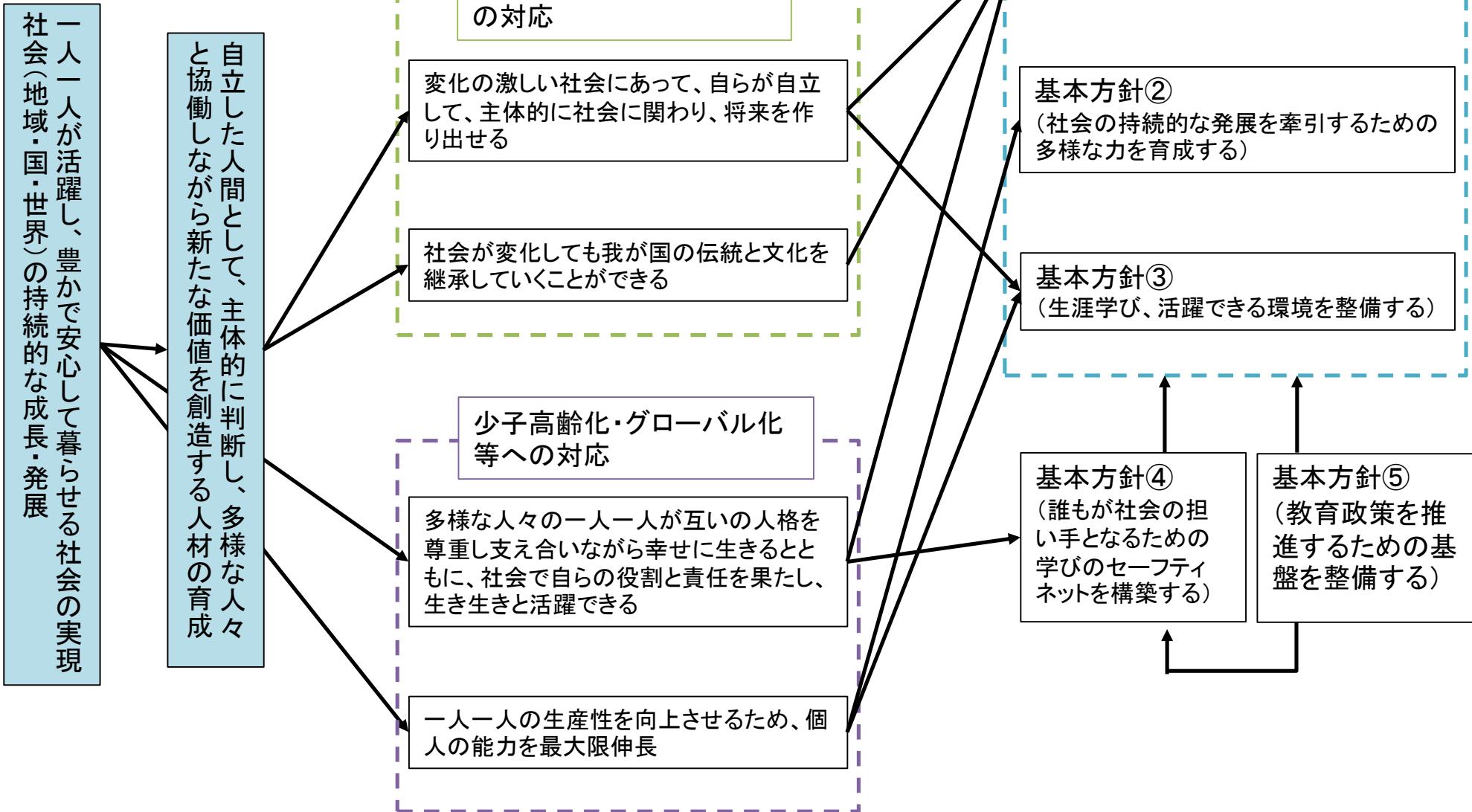


「第3期教育振興基本計画の策定に向けた基本的な考え方」  
のロジックモデル

平成29年5月

# 教育政策の基本的な方針と教育の目指すべき姿との関係

## 教育の目指すべき姿



# 1. 夢と自信を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する

(「基本的な方針」と「今後5年間の教育政策の目指すべき方向性」をつなぐ共通の考え方)

急激に変化する社会を生き抜く上で必要な力を育成するためには、学校で学ぶことと社会との接続を意識した各段階の一貫した教育を通じ、課題を抱えた人を含む全ての人に対して、確かな学力、豊かな心、健やかな体など、よりよい人生を送るとともに社会に主体的に関わるための基礎・基本を学校・地域が連携・協働して保障していくことや、互いに助け合いながら困難の解決に向けて行動することを促すことが重要である。

新しい社会や経済に適応する力 変化の本質や背景を見抜く力 夢や目標を持って積極的に行動する力  
 主体的に社会に参画していくための力 自信を持って可能性に挑戦する  
 変化を前向きに受け止め、社会や人生、生活を、人間ならではの感性を働かせてより豊かなものにする  
 複雑化・多様化した現代社会の課題に対して、主体的な学びや多様な人々との協働を通じ、その課題解決につながる新たな価値観や行動を生み出す  
 現在では思いもつかない新しい未来の姿を構想し実現していく 将来が展望しにくい状況における社会的・職業的自立

## 主な施策群

### 基本的な考え方の本文に記載の内容

- 幼児期からの質の高い教育の提供
- 次期学習指導要領の周知・徹底及び着実な実施
- 高大接続改革の着実な推進
- 大学教育の質の向上
- 食育の充実
- 教職員と児童生徒との信頼関係の構築
- いじめや不登校など生徒指導上の諸課題への対応
- キャリア教育
- 職業教育
- 地域全体で家庭教育を支える仕組みづくり
- 特別支援教育の推進
- 障害のある子供への切れ目ない支援
- 帰国児童生徒、外国人児童生徒等への支援
- 複合的な困難を有する子供への支援
- 障害のある子供の教育的ニーズに応える多様な学びの場の整備

### 具体的な取組例

- 学習指導要領の着実な実施
- 大学教育の質の保証
- 高大接続改革の推進
- 小中一貫教育の推進
- 自己肯定感が低い現状を改善するための環境整備
- 規範意識や思いやりの心など豊かな心の育成
- 学校と地域における子供のスポーツ機会の充実など健やかな体の育成
- 体験活動
- いじめの問題への対策
- 不登校児童生徒に対する支援や中退の防止
- 人権教育
- インターンシップの推進
- 各学校段階における実践的な職業教育の充実
- 実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関の制度化
- コミュニティ・スクールの取組の加速
- 特別支援教育の推進
- 外国人児童生徒等への教育の充実
- 持続可能な開発のための教育(ESD)の推進

## 今後5年間の教育政策の目指すべき方向性

### 基本的な方針

夢と自信を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力の育成

#### 確かな学力の育成

知識及び技能、思考力・判断力・表現力等  
主体的に学習に取り組む態度

#### 学生の問題発見・解決能力の育成

#### 豊かな心の育成

豊かな情操、規範意識、自他の生命の尊重、自尊感情、他者への思いやり、対面でのコミュニケーションを通じて人間関係を築く力、公共の精神等、日本の伝統や文化を継承・発展させる力

#### 健やかな体の育成

身体面の充実(体力の向上、健康の確保等)  
精神面の充実(意欲や気力等)

#### 生き方や働き方についてしっかりとした考えを持ち、職業生活へ移行後も必要な知識・技能を身につけられる力の育成

#### 学校・家庭・地域の連携・協働

#### 多様なニーズのある子供への対応

#### 多様な人材と協働する力の育成

特に  
 ・英語等の語学力  
 ・世界の人々と積極的にコミュニケーションを取り、国際社会の中で、バランス感覚を持ちつつ自ら挑戦する気概をもつこと  
 ・日本の歴史、伝統や文化に対する理解を深め、様々な国の人々と理解し合い協働できる姿勢を育むこと

## 2. 社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を育成する

(「基本的な方針」と「今後5年間の教育政策の目指すべき方向性」をつなぐ共通の考え方)

各自が基礎・基本を身につけた上で、それぞれの得意な分野や個性に応じて社会の様々な場面においてリーダーシップを発揮して活躍し、新たな価値を創造して社会の持続的な発展を牽引(けんいん)していくことができるよう、優れた才能の伸長を含め、それぞれの個性や能力を最大限に伸ばしていくことが不可欠である

### 主な施策群

#### 基本的な考え方の本文に記載の内容

- 英語をはじめとする外国語教育の強化
- 学生等の海外留学促進
- 海外で学ぶ児童生徒、外国人児童生徒等への教育の充実
- 外国人留学生の受け入れ環境の整備
- 高等学校や高等教育機関を中心とした国際交流の推進
- 体験的な活動を含む先進的な理数教育の機会の提供
- 児童生徒等が相互に研鑽する場の構築等の取組の充実
- 研究力の向上
- 優秀な学生の育成強化
- 数理・情報教育のすそ野の拡大
- 最先端の情報技術を実践的に活用することができる人材育成の推進
- 現場レベルの改善・革新を牽引するとともに、高付加価値サービスを生み出すことができる人材の育成
- 質の高い専門家に出会う体験の機会の充実

#### 具体的な取組例

- 外国語教育
- 日本人学生の海外留学促進
- スーパーグローバルハイスクール
- 国際バカロレア
- 優秀な外国人留学生の戦略的な受入れ
- 外国人児童生徒等への教育充実
- 在外教育施設における教育の充実
- 次代の科学技術イノベーションを担う人材の育成(スーパーサイエンスハイスクール等)
- 独創的で優秀な研究者の養成など持続的なイノベーション創出のための教育研究
- 優れた素質を有するジュニアアスリートの養成
- 新進芸術家への研修

⋮

### 今後5年間の教育政策の目指すべき方向性

#### 基本的な方針

社会の持続的な発展を牽引するための多様な力の育成

#### グローバル人材の育成

豊かな教養、コミュニケーション能力、課題解決能力、異文化理解の精神等

#### イノベーションを牽引する人材の育成

各分野の専門的知識、分野横断的な知識、高度な課題解決能力、新たな知や新たな価値を創出する力 等

#### スポーツ分野に秀でた人材の育成

#### 文化芸術分野に秀でた人材の育成

### 3. 生涯学び、活躍できる環境を整える

(「基本的な方針」と「今後5年間の教育政策の目指すべき方向性」をつなぐ共通の考え方)

- ・人口減少の進む中でも、一億総活躍社会を実現し、成長と分配の好循環を生み出すためには、女性や高齢者の活躍を更に支援し、これまで以上に一人一人が活躍していくことが必要
- ・技術革新の進展により、今は存在しない新しい職業への就業や、時間や場所にしばられない働き方など、仕事・働き方の多様化がさらに進むとともに、長寿化の進展により、これまで以上に長期にわたり刻々と変化する社会に対応し、必要な知識や技能を身につけていくことが求められる

- ⇒
- ・年齢や性別にかかわらず、全ての人が継続して学習できる環境を整備していくことが必要
  - ・心身の健康の保持増進のために生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境を整備していくことが重要

#### 主な施策群

##### 基本的な考え方の本文に記載の内容

- 社会に開かれた高等教育
- 産業界と連携した教育カリキュラムの編成・実施
- 働きながら学べる機会の確保
- 経済的な支援
- 転職・再就職に役立つプログラムの拡充
- 放送大学の活用
- インターネットを活用した学習機会の提供の推進
- 民間における資格・検定等の活用
- 専修学校等における専門的職業分野に関する多様な教育機会の提供、地域の産業人材の育成
- 障害者のライフステージ全体を通じ、生きがい・地域とのつながりづくりに向けて必要な学習や様々な分野の活動に参加できる機会の充実

##### 具体的な取組例

- 社会人や高齢者の学び直しの推進
- ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- 障害者の生涯学習の推進
- 学びを通じた地域づくりの推進

⋮

#### 今後5年間の教育政策の目指すべき方向性

#### 基本的な方針

生涯学び、活躍できる環境の整備

社会人の学びの継続・学び直しの推進

障害者の自己実現を目指す生涯学習の推進

学校卒業後も継続して学習し、学校等で身につけた能力を維持・向上させつつ、生きがいある豊かな人生を送ることができる環境づくりの推進

人生100年を見据えた「二つ目の人生を生きる力」の養成

健康を維持して必要な知識・技能を学び、知的・人的ネットワークを構築し、人生の可能性を広げて新たなステージで活躍するというサイクルの実現

# 4. 誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する

(「基本的な方針」と「今後5年間の教育政策の目指すべき方向性」をつなぐ共通の考え方)

・家庭の経済状況や地理的条件等にかかわらず、全ての人々が質の高い教育を受け、能力・可能性を最大限伸ばしてそれぞれの夢に挑戦できるようにするためのセーフティネットを構築することは、一人一人の豊かな人生の実現に加え、我が国の成長・発展にもつながるものである。  
・子供が一人増えるごとに親の経済的負担が大きくなるのが、少子化の一因となっており、教育費の負担軽減は、子供をもう一人持ちたいという家庭の希望を叶え、少子化の進展に歯止めをかけることにもつながるものである。

## 主な施策群

### 基本的な考え方の本文に記載の内容

幼児期の全ての子供への質の高い教育の提供

意欲と能力のある全ての子供への高等教育の保障

年齢等に関わりなく、教育機会を確保

学校・家庭・地域の連携・協働体制の構築

学校教育による学力保障

学校を窓口とした福祉関係機関等の担当者との連携

幼児期から高等教育段階まで切れ目のない経済的支援

地域住民等の協力による学習支援

親の学習、読書、自然体験活動等の経験が十分でない家庭へのきめ細かな対応

生活上の困難解決に向けた支援

必要な栄養摂取が十分でない子供への支援

### 具体的な取組例

幼児教育の段階的無償化の推進など教育費負担軽減

不登校児童生徒の教育機会の確保

夜間中学の設置促進

地域住民の協力やICTの活用等による原則無料の学習支援

⋮

## 今後5年間の教育政策の目指すべき方向性

### 基本的な方針

誰もが社会の担い手となるための  
学びのセーフティネットの構築

全ての人々が教育を受けられる機会の確保

教育格差への対応

多様なニーズを持つ大人・子供への教育機会の提供

# 5. 教育政策推進のための基盤を整備する

(「基本的な方針」と「今後5年間の教育政策の目指すべき方向性」をつなぐ共通の考え方)

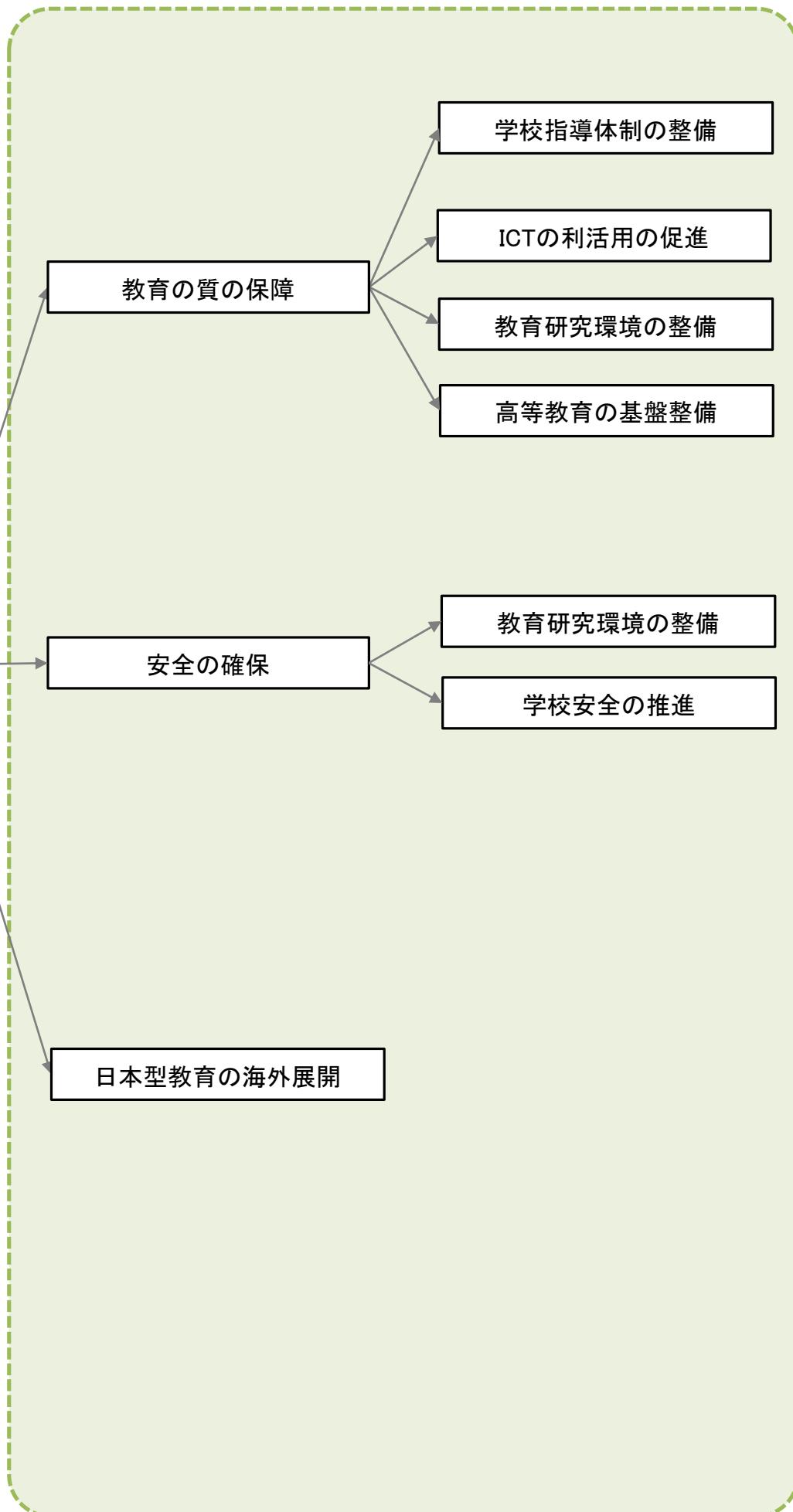
教育の目指すべき姿の実現に向け、教育政策を推進するためには、学校指導体制の整備やICTの利活用の促進、安全・安心で質の高い教育研究環境の整備、大学の財政基盤の確立や各高等教育機関の機能強化、日本型教育の海外展開など、良好で質の高い基盤を整備することが重要である。

## 主な施策群

### 今後5年間の教育政策の目指すべき方向性

#### 基本的な方針

教育政策推進のための基盤の整備



#### 基本的な考え方の本文に記載の内容

- 新しい時代の教育を担うための教員の養成
- チームとしての学校を実現するための体制の構築
- 家庭・地域・関係機関との連携・協働等の推進
- 学校指導体制の質・量両面からの充実
- 学校現場における業務の適正化
- 生涯を通じた学習の基盤としてのICTの利活用の推進
- 学校のICT環境整備の推進
- 大学教育におけるICTの利活用の推進
- ICTによる大学の知の国内外への発信
- 国公立学校施設の老朽化対策
- 私立学校施設の耐震化
- 教材の整備の充実
- 学校図書館の整備の充実
- 社会教育施設等の教育環境の充実
- 高等教育機関の財政基盤の確立
- 国立大学等の教育研究環境の整備
- 私立大学等の教育研究環境の整備
- 高等教育のユニバーサル・アクセスの推進
- 高等教育機関間の連携の推進
- 各高等教育機関の強みをより活かしていく体制の整備

#### 具体的な取組例

- 教職員指導体制・指導環境の整備
- 学校現場における業務の適正化の推進
- ICT環境整備
- 学校施設の耐震化・老朽化対策
- 学校安全の推進
- 教材整備
- 学校図書館の図書整備・新聞配備・学校司書の配置拡充
- 社会教育施設等の教育環境の充実
- 高等教育の基盤整備
- 日本型教育の海外展開

⋮